九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

DEVELOPMENT OF A GIS-BASED INTEGRATED LANDSLIDE HAZARD MAPPING SYSTEM AND ITS APPLICATIONS

周, 蘇華

https://doi.org/10.15017/1785397

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

（様式５－２）

氏　　名	しゅう　そか 周　　蘇華　　(Zhou　Suhua)
論　文　名	DEVELOPMENT OF A GIS-BASED INTEGRATED LANDSLIDE HAZARD MAPPING SYSTEM AND ITS APPLICATIONS （GISによる統合型崩壊災害ハザードマッピングシステムの開発とその適用）
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　陳　光斉 副　査　　九州大学　　教授　　三谷 泰浩 副　査　　九州大学　　教授　　矢野 真一郎

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文は、斜面崩壊の危険性評価における統計的な手法の改良、活断層による想定地震の PGA 分布の推定手法、斜面の詳細地形や地盤特性、崩壊土石の運動エネルギーを考慮した斜面崩壊警戒区域の推定手法などの提案により、斜面崩壊ハザードマップの作成精度を大幅に向上させた。また、GIS ベースの統合型斜面崩壊ハザードマッピングシステムの開発により、実用的なハザードマップを容易に作成でき、地震による斜面災害における防災力の向上に資するものであり、地盤工学および防災工学上寄与するところが極めて大きい。よって、本論文は博士(工学)の学位論文に値するものと認める。